

調査の概要

以下、1～4については、文部科学省が示す「平成30年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領」に基づきます。

1 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の対象学年

- ・小学校第6学年及び中学校第3学年の原則として全児童生徒を対象とする。
- ・特別支援学校小学部第6学年及び中学部第3学年の原則として全児童生徒を対象とする。
- ・ただし、特別支援学校及び小中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒のうち、調査の対象となる教科について、以下に該当する児童生徒は、調査の対象としないことを原則とする。
 - (1) 下学年の内容などに代替して指導を受けている児童生徒
 - (2) 知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の教科の内容の指導を受けている児童生徒

3 調査の内容

(1) 教科に関する調査（国語、算数・数学、理科）

A：主として「知識」に関する問題	B：主として「活用」に関する問題
<ul style="list-style-type: none">・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容・実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 など	<ul style="list-style-type: none">・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力・様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 など

※理科については、「主として『知識』に関する問題」と「主として『活用』に関する問題」を一体的に問う。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

4 調査実施日

平成30年4月17日（火）

5 調査を実施した学校、児童生徒数〔三重県：公立〕

【小学校調査】

	対象学校数	実施学校数(実施率)	児童数
小学校	356	356 (100.0%)	約15,900人

※学校数には、義務教育学校前期課程、県立特別支援学校を含む。

【中学校調査】

	対象学校数	実施学校数(実施率)	生徒数
中学校	158	158 (100.0%)	約15,600人

※学校数には、義務教育学校後期課程、県立特別支援学校を含む。